

地田知平名誉教授著作目録抄

昭和二十六年(一九五一年)

論文 「海運企業の若干の性格」『現代商学の基本問題・

Ⅱ』一橋大学産業経営研究所

昭和二十七年(一九五二年)

書評 ハルトグレン著『運輸と景気』『一橋論叢』第二七

巻第四号

論文 「海運と貿易」『現代商業学実務講座・貿易取引』

春秋社

昭和二十八年(一九五三年)

事典項目 「コンファレンス」他三六項目 『経済学事典・中』

平凡社

「海運」の項 『商業学事典』 新紀元社

「海運」の項 『経済学大辞典』 東洋経済新報社

論文 「海運における操業度——チャーター・ベース計算

の一吟味——」『一橋論叢』第三〇巻第一号

昭和二十九年(一九五四年)

学会展望 「戦後日本におけるわが国の交通研究」『ビジネス・

レビュー』第一巻第三号

論文 「海運経営に対する用船の効果」『ビジネス・レビ

ュー』第二巻第二号

昭和三十〇年(一九五五年)

論文 「Shipping Business and its Technical Require-

ment, " *The Annals of the Hitotsubashi Academy*,

Vol. V No. 2.

「海運業における企業安定の方法」『一橋論叢』第

三三巻第六号

辞典項目 「交通、倉庫」『経済学小辞典』 東洋経済新報社

昭和三十一年(一九五六年)

論文 「不定期船企業の運送選択とその指標としての運

賃」『ビジネス・レビュー』第三巻第三号

「海運市場の構造と船舶の技術的条件」『ビジネス

レビュー 第四卷第二号

「滞船による企業の損失と滞船料——繫船點理論への接近のために——」 『一橋論叢』 第三五卷第六号  
辞典項目 『交通業』 『経営ハンドブック』 同文館

昭和三二年 (一九五七年)

論文 「日本海運業の問題点——戦後における交貌を中心として——」 『一橋論叢』 第三八卷第五号  
「戦後の日本海運業における系列化の特質——日本海運業の交貌の一節——」 加藤由作博士還歴記念 『保険学論集』 春秋社

昭和三三年 (一九五八年)

論文 「公益事业の「本質的地位」についての覚書——海運業は公益事业か」という設問に関連して——」 『一橋論叢』 第三九卷第二号  
著書 『海運市場論』 有斐閣

昭和三四年 (一九五九年)

辞典項目 「ザックス『交通手段』、ラードナー『鉄道経済』、富永『交通学の生成』、『世界名著大事典』 平凡社

昭和三五年 (一九六〇年)

論文 「海上労働における分業と協業——海上労働の生産性と技術進歩の方向——」 『商学研究』 第四号  
事典項目 「インダストリアル・キャリア」他九項目 『工業大事典』 平凡社

昭和三六年 (一九六一年)

論文 「海上労働の特質と船員の需給対策」 『海上労働』 第一四卷四号

昭和三七年 (一九六二年)

論文 「不況から脱出する海運政策のみち」 『エコノミスト』 第四〇卷第二八号  
「船内作業合理化の特質」 『海運』 第四一九号  
「構造的不況に見舞われる海運業——不況の原因についての一試論——」 『経済評論』 第一一卷第九号  
「海運経営と労務管理」 『海上労働』 第一五卷第四号

辞典項目 「海運」 大阪市立大学経済研究所編 『経済学辞典』 岩波書店

昭和三八年 (一九六三年)

論文 「郵便の本質——郵便事業経営論序説——」 『ビジネス レビュー』 第一〇卷第三号

「戦後の日本海運業の展開」『商学研究』第七号

「海運企業の集約化をめぐる二、三の問題」『海運』

第四二八号

「郵便経営についての二、三の問題」『郵政調査時報』

第四卷第四号

「郵便作業の合理化の特質——ジップ・コードから機械化まで——」『郵政』一九六三年一月号

「諸外国の海運業並びに海運政策の現状と問題点に関する調査研究(1) (第一章) 産業構造研究所

辞典項目「運送、倉庫」『体系経済学辞典』東洋経済新報社

昭和三九年 (一九六四年)

論文 「郵便作業の機械化の限界——局内作業を中心として——」『一橋論叢』第五一卷第一号

「集約化と労働問題の焦点」『海上労働』第一六卷

第六号

「諸外国の海運業並びに海運政策の現状と問題点に関する調査研究(II) (第一章) 産業構造研究所

昭和四〇年 (一九六五年)

監訳 スターミナー著『英国海運と国際競争』東洋経済新報社

論文 「イギリスの港湾労働」『海運研究所報』五月号

昭和四一年 (一九六六年)

論文 「交通技術の進歩と交通企業」『運輸と経済』三月号

「海運における技術と経済」『日本船用機関学会誌』

第一卷第三号

「イギリス港湾業の労務管理に関するメモ——ロンドン港における事情を中心にして——」『海事交通研究』第三集

「総括原価主義から個別原価主義へ——わがくに国

有交通事業の独立採算制——」『ビジネスレビュー』第一三卷第三号

スターミナー著『英国海運と国際競争』『海運研究所報』第四一号

書評

辞典項目「交通経済論」『経済学辞典』東洋経済新報社

昭和四二年 (一九六七年)

論文 「港湾労働者の登録制と荷役の能率」『商学研究』

第一〇号

書評 土井智喜著『海上労働講座』『海運』四七八号

共訳 ザネトス著『タンカー運賃の理論』海事産業研究所

昭和四三年（一九六八年）

調査 「港湾労働者の実態」 『港湾労働者雇用関係体質改善指導講習資料』 東京都労働局職業安定部労働課

論文 『船協二〇年史』 第一章総説 日本船主協会

事典項目 「海上運送」 他三項目 『社会科学大事典』 鹿島研究所

昭和四四年（一九六九年）

辞典項目 「運河」 他一一〇項目 『岩波小辞典 経済用語』

昭和四五年（一九七〇年）

調査 『海運業の再建整備の成果の分析及び調査』 海事産業研究所

昭和四六年（一九七一年）

論文 「用船における投機——一つの試論」 『ビジネスレビュー』 第一八巻第四号

社 「海運・通信」 『交通経済学』 改訂版 青林書院新社

昭和四七年（一九七二年）

論文 「船舶の技術進歩と企業集中——ロッテデール報告」 を資料として—— 『商学研究』 第一五号

昭和四八年（一九七三年）

論文 「物的流通技術」 小泉・地田共編 『商学講義』 青林書院新社

昭和四九年（一九七四年）

資料 「職業としての船員——イギリスにおける離職の調査」 『ビジネスレビュー』 第二二巻第一号

辞典項目 改訂及び追加二項目 『体系経済学辞典』 東洋経済新報社

昭和五〇年（一九七五年）

論文 「最近のタンカー・マーケットについて」 『石油文化』 第二三巻第八号

号 「タンカーのインダストリアル・キャリア——海運業と石油業の関係の一節——」 『商学研究』 第一八号

昭和五一年（一九七六年）

号 「特殊船における技術と市場——その実用化の経済的過程——」 『ビジネスレビュー』 第二三巻第四号

昭和五二年（一九七七年）

論文 「日本・オーストラリア間の海運問題」 日豪調査委

員会編 『日豪經濟關係の基本問題』

昭和五三年(一九七八年)

著書

『海運産業論』 千倉書房

論文

「昭和五二年度運輸白書を読んで——第五章「国際環境の変化と運輸」を中心として」『トランスポート』三月号

「船員の共同雇用制をめぐる若干の問題——イギリスの制度を中心にして——」『海事交通研究』第一五集 海事交通文化研究所

昭和五四年(一九七九年)

論文

「便宜置籍船に関する覚え書——その問題性——」『ビジネス・レビュー』第二六卷第三号

「交通経営論」『一橋論叢』第八一巻第四号

「昭和五三年度運輸白書を読んで」『トランスポート』三月号

「戦後におけるタンカー船隊の発展と問題点」『ペトロウリウム・エコノミスト・記念論文集』石油評論社

昭和五五年(一九八〇年)

論文

「世界海運の秩序」『海洋時報』一七号

昭和五六年(一九八一年)

論文

「便宜置籍船に関する若干の問題」『ビジネス・レビュー』第二八巻第四号